**個別支援計画とケース記録　第1回「個別支援計画の重要性」01160801wtj**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ページ＃ | シートタイトル | 小見出し | 要点　「」はテロップ |
| P1下 | 個別支援計画とPDCA |  | 個別支援計画とは、  ・「「個別」とは、利用者一人ひとりをみていく姿勢」  ・「一人ひとりをみつめる科学的な視点をもった「計画」」  ・「PDCAサイクルに則って行う計画」 |
| 1. アセスメントの実施 | 「利用者一人ひとりの実態を明らかにするためにアセスメントを行う」。 |
| 1. 個別支援計画の原案の作成 | 「アセスメントで利用者の生活課題を明らかにすることが必要→達成目標を設定→達成目標の中から解決課題の優先順位を決める→課題解決のために社会資源等のマッチングを行う」 |
| 1. 個別支援計画の原案について利用者又はその家族等に説明し、同意を得る | 「利用者不在の計画であってはいけない。  利用者・家族に説明をして同意を得ることが大事なプロセス」 |
| 1. 個別支援計画を利用者に交付 | 「個別支援計画が実際に実施されていくことが大事」 |
| 1. 定期的なモニタリングの実施 | 「記録を取ること」  「その記録から日々のアセスメントを実施」  「個別支援計画の修正に向けて改善されていくことが必要」 |
| P2上 | （個別支援計画の原則） | 自己決定・自己支援 | 「利用者の自己決定・自己支援を支えるプランであること」 |
| エンパワメント | 「自信をつけていただき、自分自身の力で成長していただくこと」 |
| 個人と環境の相互作用 | 「個人と環境の相互作用の中で起こる不都合を調整していくこと」 |
| 不得意より得意や強み | 「不得意より、得意や強みを見つけていくこと」 |
| サービス優先でなくニーズ優先 | 「利用者のニーズを優先させる視点が大事」 |
| 生活の総体としての計画 | 「一日の生活がどのように行われているか？」 |
| P2下 | Well-beingへの支援 | 行動計画化 | 「作るだけではなく実施することが目的」 |
| P3上 | マイナスイメージの個別支援計画 | 個別支援計画 | 「私たちが支援をしていくための計画」  「利用者のできないところをあげつらうものではない」  利用者ができない＝「私たちの支援ができていないということ」  この視点を抜かすと個別支援計画が陳腐で形式的なものになってしまう。 |
| ・どのような支援が必要か、どの程度の支援が必要か」という観点からの計画化 | 本人の周囲をどのように調整するのかという「環境調整」の視点。 |
|  | ※個別支援計画をどう書いていいのかわからない、どういう意味があるのかわからない。  →「利用者に寄り添った形の計画ではない可能性がある」。  「利用者と一緒に利用者の夢を叶えていくと、とても夢のある楽しいものになる」。 |
| P3下 | （より良いものにする５つのポイント） | 1. 支援ニーズの明確化 | 「毎日何をしていくのか？」  「個別支援計画と実践と記録とが結びついていることがリアリティのある活動になる」。 |
|  | 1. 「支援計画」＝「役割分担計画」：事業所の役割も大切ですが、『本人の役割』も忘れずに！ | 「一方的に支援をするのではなく、利用者本人と一緒に夢を叶えていく」 |
|  | 1. チームの共通目標 | 利用者一人と支援員1人の関係ではなく、チーム全体で利用者を中心に置き、利用者の夢を実現していくために何ができるのか、私たちはどういうことができるのか、利用者のできないことではなく、できることは何なのかを考えていくことが「エンパワメントにつながっていく」。 |